[小面積向き]

Newシルキーパレット

水仙仕上げ

施工の手引き

平成20年8月作成

アイカ工業株式会社 化成品カンパニー 技術部 建設樹脂グループ

目次

Newシルキーパレット20シリーズ

使用材料・・・・3ページ

施工方法 ・・・・4ページ

Newシルキーパレット25シリーズ

使用材料 ・・・・5ページ

施工方法 ・・・・6ページ

Newシルキーパレット55シリーズ

使用材料 ・・・・7ページ

施工方法 ・・・・8ページ

共通)

適用下地・・・・9ページ

主な施工道具・・・・9ページ

施工のポイント・・・9~10ページ

施工の注意事項・・・11ページ

不燃仕様の対象パターンについて ・・・・11ページ

Newシルキーパレット20シリーズ

<使用材料>

材 料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 20シリーズ 標準色 JQ - 20T (1000~2999) 特注色 JQ - 20T (3000~6999) 又は JQ - 20 (英字,数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	2 0 kg^° -ル缶	約8㎡/缶
骨材	J F - 1	寒水石(白竜)1厘	(20kg 袋入	約 60 m²)

Newシルキーパレット20シリーズ

< 水仙仕上げ施工方法 >

1.主材 下塗り

配 合 JQ - 2 0 シリーズ 2 0 k g

清 水 1~2 %

塗 布 量 約 0 . 9 kg / m² 吹 圧 力 5 ~ 7 kg f / cm²

使用ガン リシンガン口径 4~6 mm

左官業者の場合は、JQ-20を0.9kg/㎡となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。

(下ごすり)

夏期 4時間以上 冬期12時間以上 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2 . 主材 配り塗り

配 合 JQ-20シリーズ 20kg 寒水石 1厘 4kg 清 水 1~2㎏

- < 塗装業者の場合 >
- ・マスチックローラーにてJQ 20が約2kg/㎡となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)
- < 左官業者の場合 >
- ・ステンレスゴテにて、JQ-20が約2kg/㎡となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

3.パターン付け

- ・水仙ローラー J R 2 0 に充分 J Q 2 0 を含ませる。 (図 - 1)
- ・配り塗りしたJQ 20が乾燥しないうちに、 水仙ローラーJR - 20の柄を壁面に近づけ多少引き ずるようにまっすぐ上から下へ転がす。(図 - 2)

Newシルキーパレット25シリーズ

<使用材料>

材 料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
主材	Newシルキーパレット JQ-25シリーズ 標準色 JQ-25T (1000~2999) 特注色 JQ-25T (3000~6999) 又は JQ-25 (英字,数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	2 0 kgペール缶	約8㎡/缶
骨材	J F - 1	寒水石(白竜)1厘	(2 0 kg 袋入	約 60㎡)

Newシルキーパレット25シリーズ

< 水仙仕上げ施工方法 >

1.主材 下塗り

配 合 JQ - 2 5 シリーズ 2 0 k g

清 水 1~2 👯

 塗布量
 約0.9 kg/m³

 吹圧力
 5~7 kg f/cm²

使用ガン リシンガン口径 4~6 mm

左官業者の場合は、JQ-25を0.9kg/㎡となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。

(下ごすり)

夏期 4時間以上 冬期12時間以上 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2 . 主材 配り塗り

配 合 JQ - 2 5 シリーズ 2 0 k g 寒水石 1厘 4 k g 清 水 1 ~ 2 ½

- <塗装業者の場合>
- ・マスチックローラーにてJQ 25が約2kg/㎡となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)
- < 左官業者の場合 >
- ・ステンレスゴテにて、JQ 2 5 が約 2 kg / ㎡となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

3.パターン付け

- ・水仙ローラー J R 2 0 に充分 J Q 2 5 を含ませる。 (図 - 1)
- ・配り塗りしたJQ 2 5 が乾燥しないうちに、 水仙ローラーJR - 2 0 の柄を壁面に近づけ多少引き ずるようにまっすぐ上から下へ転がす。(図 - 2)

Newシルキーパレット55シリーズ

<使用材料>

材 料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ-55シリーズ 標準色 JQ-55T (1000~2999) 特注色 JQ-55T (3000~6999) 又は JQ-55 (英字,数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	2 0 kgペール缶	約8㎡/缶
骨材	J F - 1	寒水石(白竜)1厘	(20kg 袋入	約 60 m²)

Newシルキーパレット55シリーズ

< 水仙仕上げ施工方法 >

1.主材 下塗り

配合 J Q - 5 5 シリーズ 20 kg

塗 布 量 約0.9kg/m²

吹圧力 $5 \sim 7 \, \text{kg f} / \text{cm}^2$

使用ガン リシンガン口径 4~6mm

> 左官業者の場合は、JQ-55を0.9kg/m²と なるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。

(下ごすり)

夏期 4時間以上

冬期12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2 . 主材 配り塗り

配 合 J Q - 5 5 シリーズ

20 kg

寒水石 1厘

4 kg

清 水 1~2%

- < 塗装業者の場合 >
- ・マスチックローラーにてJQ-55が約2kg/㎡とな るよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り 塗りする。(ムラ切り)
- < 左官業者の場合 >
- ・ステンレスゴテにて、JQ-55が約2kg/m²となるよ う均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

3.パターン付け

- ・水仙ローラー J R 20 に充分 J Q 55 を含ませる。 (図-1)
- ・配り塗りしたJQ・55が乾燥しないうちに、 水仙ローラーJR - 20の柄を壁面に近づけ多少引き ずるようにまっすぐ上から下へ転がす。(図 - 2)

<適用下地>

・石膏ボード等

下地によりシーラーを選定し、使用してください。

例)合板の場合:アク止めシーラーJS-90

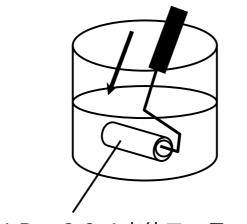
<主な施工道具>

- ・リシンガン(口径 4~6mm)
- ・マスチックローラー (ジョリパットローラーJR 20:9インチ) 又は、 ステンレスゴテ
- ・水仙ローラー (ジョリパットローラーJR 20:9インチ)
- ・コンプレッサー(3馬力以上:1台使用の場合)

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

<施工のポイント>

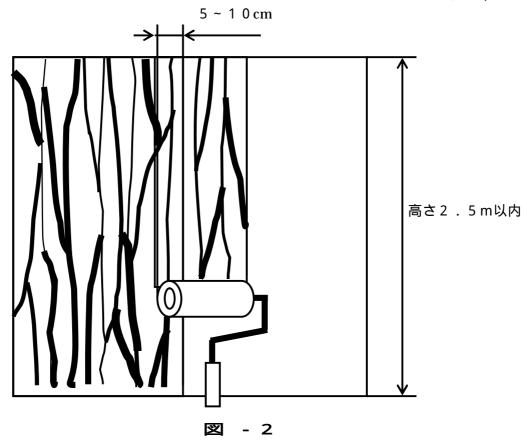
・水仙ローラー」R - 20に塗材を充分含ませる。



JR-20(水仙ローラー) **図 - 1**

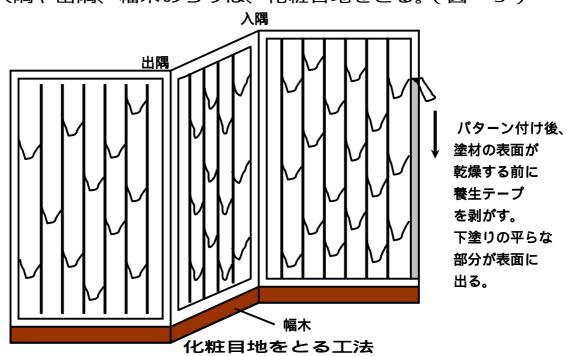
- ・ローラーは、上から下へ一気に引きずるように転がす。
- ・隣のパターンと 5 ~ 1 0 c m程度、重ねるようにローラーを 転がすとパターンが連続する。(図 - 2)

JQ - 01 - 22 - 01 (JQ 水仙)



入り隅、出隅の処理方法

・入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとる。(図 - 3)



塗材を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。 図 - 3

<施工の注意事項>

- ・内装小面積用で、高さ2.5m以内向けパターンです。
- ・配り塗りはできるだけ均一にして下さい。
- ・塗布量が少ないとパターンがでない場合があります。
- ・パターン付けは、手の届く範囲内(高さ2.5m以内)で 一気に行って下さい。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥 性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ・入隅は塗布量が多くならないよう注意して下さい。塗布量が 多い場合、クラックが発生しやすくなります。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任 者の承認をいただいた上で施工を進める。

<不燃仕様の対象パターンについて>

不燃仕様の対象パターンには、マイルドプラスター、マイルドプラスターランダム、シンフォニー、ウォーターフォール、 細流、ニュアージュ、乱流、乱流 2 色、ゆず肌があります。

水仙は、不燃仕様の対象パターンではありません。

以上